



市議会ホームページ
QRコード

平成28年度決算全会計を認定

平成29年第3回定例会は、9月1日から9月29日までの29日間の会期で開催し、市長提出議案27件を議決しました。なお、陳情5件はすべて継続審査となりました。(結果は8頁に掲載)

一般質問では、23名の議員が5日間にわたり、市長等と議論を交わしました。(2～6頁に掲載)

最終日29日の本会議では、各会派から一般会計歳入歳出決算議案に対する賛成・反対の討論が行われました。(7～8頁に掲載)



平成28年市農業祭「棒打ち」の様子 都立武蔵国分寺公園(泉町2-1)

平成28年度一般会計決算 及び全特別会計決算を認定

市議会は、決算議案審査で前年度の予算執行状況やその効果の評価を行い、翌年度以降の健全な行財政運営に資する審査を行っています。

平成28年度の一般会計及び7特別会計の決算議案の審査は、決算特別委員会(皆川りうこ委員長、丸山哲平副委員長、議長と議員選出監査委員を除く22名で構成)を設置し、9月22日と25日、26日の3日間審査を行いました。

平成28年度決算は、一般会計では実質収支額8億5,749万円の黒字で、前年度実質収支額を差引いた単年度収支額は9億1,615万1千円の赤字。7特別会計を合わせた全会計総計の実質収支額は12億3,073万4千円の黒字、単年度収支は3億5,812万円の赤字となりました。

委員会では、最初に一般会計の『決算の概要』『歳入』『人件費』『歳出』の質疑を行い、その後各特別会計の質疑を行いました。

●『決算の概要』の主な質疑は「市は収支均衡型予算を目指してきたが、一般会計の単年度収支が昨年の黒字から赤字に転じている。また財政の弾力性を示す経常収支比率は昨年度より2ポイント悪化しているが、この状況をどう受け止めているか」との質疑があり、「単年度収支は前年の平成27年度では歳入が大きかったのに対し、平成28年度では税連動交付金等歳入が減ってしまったことが主要因である。経常収支比率は都内各自治体が一律で悪化している状況にあるので、今後社会情勢を含め注視しつつ、対応していきたい」との答弁がありました。さらに「実質収支比率が3.6%となり、適正とされる数値に入ったことは、収支均衡予算を目指してきた証左であると評価する」「市の財政状況

公表に当たってはよりわかりやすいものとなるよう工夫すべき」等の質疑がありました。

●『歳入』の主な質疑は「市税の収入未済額が前年度と比較して減少している。現年度分の未済を増やさない早期対応によるものと評価する」「たばこ税の見積りに当たっては、今後の喫煙に関する厳しい規制等を踏まえた対応を行うべき」等の質疑がありました。

●『人件費』の主な質疑は「人件費の総額が前年度よりも下がっており、市の努力と評価する。今後も給与全体は高い水準にあることを認識し慎重に対応せよ」「専門職の嘱託職員欠員状態解消に向けた対策を」等の質疑がありました。

●『歳出』の主な質疑は「声の広報利用者拡大に関し努力された取り組みを評価する」「まちの魅力発信事業は国の交付金が削減されても継続して実施を」「まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況を把握し、子育て世代の包括支援センター整備に向けた検討を促進せよ」「平和祈念事業におけるピースメッセージがさらに活躍できる場と報告書の活用を拡充すべき」「老朽化した自治会・町内会の掲示板の維持・修繕を」「防犯に対する意識啓発の実施は自治会・町内会の協力を得て」「こどもの発達センターつくしんぼは狭隘により待機状況にある。民間誘致等対応を促進すべき」「国保特別会計の赤字解消を踏まえ国保税改定の検討を」「子ども家庭支援ショートステイ事業のPRと手続き簡略化を」「国分寺駅北口再開発ビルオープンに向けて商業振興の強化と装飾街路灯のLED化への誘導支援を」「交通安全推進に関わる立て看板設置においては交通事故抑制に有効な取り組みを」「国分寺駅周辺の臨時駐輪場は廃止ありきではなく、ニーズを把握したうえで対応すべき」「修学旅行等の業者選定に一般

競争入札導入の検討を」「小・中学校の学校事務共同実施による共同事務室設置にあたっては、今後の教室の余裕状況を勘案して検討を慎重に」「学校の教室、廊下等にLEDの積極的導入を」「今般の中学校給食を取り巻く報道があるが、本市としてはしっかり業者のチェック等を願う」「今後公民館は市長部局と役割を確認し、社会教育に特化した展開を検討しては」「子どもの読書活動に資するよう図書館と学校で連携・協力を」等の質疑がありました。

また「都立武蔵国分寺公園隣接の市立保育園ポッポのもり跡地をプレイステーションとして活用できないか」問われ、「当該地活用は東京都との調整やインフラ再整備などが必要となる提案のため、今後多角的視点から検討が必要となる」との答弁があり、「一定研究し、議会への報告を望む」との質疑がありました。

●委員会では、以上の質疑の後に採決を行った結果、一般会計決算は賛成多数で「認定」と決しました。特別会計決算は国分寺都市計画事業国分寺駅北口地区第一種市街地再開発事業特別会計、介護保険特別会計の2特別会計決算は賛成多数で、その他5特別会計決算は全員賛成ですべて「認定」と決しました。

●本会議では、一般会計決算に対して反対・賛成の討論が行われ、一般会計及び特別会計とも委員会と同様の結果となりました。

平成29年度一般会計補正予算(第2号) を賛成多数で可決

本補正予算の内容は、歳入歳出予算の総額498億3,293万5千円に歳入歳出それぞれ5億2,841万6千円を追加し、歳入歳出予算の総額を503億6,135万1千円とするとともに、債務負次ページに続く▶

上級救命講習を受講しました



(受講する議員の様子 8月7日ほか)

シリーズ 国分市議会④

決算特別委員会は

市の収入、支出の結果である決算議案について、毎年9月に行われる第3回定例会において、前年度分の決算が適法かつ正当であったのかを確認し、その適正性の認定を行うために市議会に設置される委員会です。

この委員会は、全議員(議長、議員選

出の監査委員を除く22名)で構成しており、市から説明を受け、決算書を1頁ずつ確認し、その適正性の審査を行います。

また、国分市議会としての最終意思決定を行う本会議では決算議案の表決にあたり、討論(反対・賛成に関する意見表明を行うこと)を行っています。

決算議案に対する討論は、会派(議会内に結成された議員の同志的集合体)ごとに決算特別委員会で確認した内容の評価を表しつつ、賛否の判断に至る考えを表明しています。

担行為補正8件を追加したいというものです。
この議案は、補正予算審査特別委員会（高瀬かおる委員長、本橋たくみ副委員長。ほか委員6名で構成）を設置し審査しました。

委員会では、図書館業務一部委託に関し「今後の開館時間の延長は、利用者の実態を踏まえ慎重に検討すべき」、オリジナル婚姻届受理証明書デザイン・制作委託に関し「事業実施のための要綱などは作成しているか」、自立型ソーラースタンド設置工事に関し「電源不要の太陽電池使用のため、災害時に使用できるような人の集まる駅前などを設置場所にすべき」等の質疑がありました。

採決にあたり「図書館業務を一部委託することで夜間開館等を実施することが実施方針で示されているが、今回の資料でそれが、必要に応じて検討していく、と後退している。市民サービスを拡充しないで進めている」等の反対討論と、「子どもの食の安全のためのノロウイルス

検査や四小の学級数増による教室改修等に対応した重要な予算だ。図書館の一部業務委託も目的は、市民サービスの維持拡大と効率的な業務遂行・コスト削減を図ることだ。夜間開館のニーズも勘案しながらサービスの向上を図る旨の答弁が得られた」などの賛成討論がありました。

本会議でも同様の反対・賛成討論があり、委員会・本会議とも賛成多数により可決しました。

新ホール開設に向け、Lホールの廃止条例を賛成多数で可決

本議案は、国分寺駅北口再開発で西街区ビル5階に新たなホールを開設することに伴い、平成30年3月31日をもって国分寺Lホールを廃止するもので、JR東京西駅ビル開発株式会社との賃貸借契約により解約6か月前までに申し入れをするため提案するというものです。

総務委員会では「Lホールが来年4月1日から使用できなくなる。本年10月1日から予約で

きなくなることを市民にどのように周知するのか」「仮に再開発が遅れた場合、4月1日からLホールも新ホールも使用できない時期が発生するのでは」との質疑に対し、「丁寧な説明の仕方を検討中である。工事の進捗は順調であり、新ホール設置条例は本年第4回定例会に上程予定である」との答弁がありました。委員会では採決の結果、賛成多数で可決しました。

本会議では「現段階で順調とはいえ、今後もスケジュールどおり工事が進む保証はない。仮に工事が遅ればLホールも新ホールもない状況に陥る。また本来は新ホール設置条例をLホールの廃止と併せて提案すべきだ。公共施設の利用拡大のために両ホールを活用することも考えられたはず。少なくとも両施設をある程度同時運営し、市民の利用状況を判断の上、Lホールの存廃を判断すべきだ」との反対討論があり、採決の結果、賛成多数で可決しました。

市政を問 **平成29年 第3回定例会 一般質問の質問事項・答弁の要旨**
内容は各議員が一定のスペース内で自由にまとめたものを一般質問が行われた順番に掲載しています

市長の政治姿勢について 今後の重点目標は



自民党新国会 須崎 宏

問) 市長の政治姿勢について今後の重点目標は。
市長) 平成29年度から総合ビジョンということで新たな8年間の計画をスタートさせたわけでありすけれども1期目の実績を踏まえて2期目についても国分寺市民の皆様のためにしっかりと市政を前に進めてまいります。

問) 史跡指定地内で相続が発生した場合今までもお買収していただくことに間違いはないか又追加指定の進捗状況についてはどうか。

教育部長) 史跡地内の公有化は従前どおり進める。追加指定は国の告示が出次第必要な対応とる。

問) 観光について駐車場とミニ道の駅の考え方は。
部長) ストックヤードの場所をそれぞれ検討する。

問) 泉町都有地を公有化すべきと思うが考えは。
副市長) 市としてもさまざま活用が考えられる土地。御指摘に答えられるよう努力していく。

問) ポップのもり保育跡の暫定的利用についてプレイステーションの有効利用してはと思うが。
部長) 建物等の有効利用ということについては

改めて庁内において検討させていただく。

問) 湧水の保全について3点伺う。国3・4・11号線整備の一部に元町用水が入るが暗渠でなく西側歩道の脇に開渠でできないか。
部長) できる限り開渠を確保し東京都と調整する。

問) 元町用水と東元町三丁目湧水の整備について。
部長) 元町用水については蛍が生育しやすい環境になるのかを団体の皆様と調整していく。東元町三丁目については保全方法を検討する。

問) 通学路の安全対策について各学校区の横断歩道に黄旗の設置を進めていただきたいが。
教育長) 校長会学校安全連絡会等で紹介していく。

けやき運動場の外周含め 整備改修は急務!!



自民党新国会 吉田 りゅうじ

▼都市間交流の強化について

【問】 本年5月、新たに長野県飯山市と友好都市協定を締結した。来年は佐渡市との姉妹都市締結から30周年、国際姉妹都市のオーストラリア・マリオン市とは25周年を迎える。これを機に更なる関係強化を切望するが如何か？

【答】 飯山市とは災害時相互応援協定から始まり、市内全中学校のスキー教室訪問や国分寺まつりでの物産販売協力など広く深い関係にあり今回の友好都市協定締結と繋がった経緯がある。他の都市とも幅広い分野で関係強化していく。

▼空き家対策について

【問】 空き家特措法が施行され、所有者確認が容易になるとともに適正管理しない空き家所有者に対して是正勧告等厳しい指導が出来ることになった。但し、「空き家イコール悪」と捉えず、所有者に寄り添った対応をして貰いたい。

【答】 宅建業協会の協力で空き家バンクとして取り組むことが可能となった。更には都中心の空き家対策WGに多摩8市と共に参加し情報共有している。他市の事例を研究しながら空き家の利活用に繋がる努力を続けて行く。

⇒同時に空き家か否か不明な事例も、周辺隣家とのトラブルに繋がらない工夫をお願いする。

▼2020東京五輪に向けた国分寺市の取組み

【問】 けやき運動場の老朽化が激しい、周囲含め安全対策と施設整備が急務と考えるが如何？

【答】 経年劣化で整備要と認識している。けやき運動場は広域避難場所であることから障害者への配慮もしつつ周回ランニングコースや防球フェンス・人工芝化等整備を検討する。

若年性認知症対策の 早期検討開始を求める



公明党 さの 久美子

1. 民間との連携について

さの) 「地域活性化包括連携協定」の進捗状況は。コンビニにAED設置を求める。市) セブンイレブン・ジャパンや国分寺市内郵便局と10月上旬に協定締結予定、AEDの設置も進める。今後、他のコンビニや大学との連携も行いたい。

2. 自殺対策について

さの) 新たな自殺総合対策大綱が決定された。若者や産後うつによる自殺が増加。メンタルヘルスチェックを手軽にできる「こころの体温計」のアプリ導入を求める。又、ゆりかご・こくぶんじ事業対象者にも「赤ちゃんママモード」の活用を。市) 若者、妊産婦さんが手軽にアクセスできるようアプリ導入を検討していく。

3. 女性のがん対策について

さの) 厚労省も動き出した。受診者に高濃度乳房である旨の通知を行う体制づくりをすべき。市) 厚労省の方針が今年度中に出る予定。速やかに対応するため関係団体と事前協議したい。

4. 若年性認知症対策について

さの) 65才以下のため就労や経済的な問題も多い。昨年多摩にも相談窓口ができたが、病名と窓口周知を市のHPで図られたい。又「生きがいの場」の創設「居場所としてのオレンジカフェ」の設置検討を。市) HPは早期に対応したい。体制づくりは、まずは研究していきたい。

5. 安全・安心のまちづくりについて

さの) 実態に即したデータでハザードマップを更新すべき。市) 見直しの時期にきている。インフラ整備の進行等を鑑み、国分寺の実態に即したハザードマップを作成したい。

閉会中の委員会等

委員会はどこでも傍聴できます

第3回定例会終了後、平成29年第4回定例会までの間に開催する委員会等は下記のとおりです。

- 10月19日(木) 議会運営委員会
 - 10月23日(月) 建設環境委員会
 - 10月30日(月) 文教子ども委員会
 - 10月31日(火) 総務委員会
 - 11月1日(水) 厚生委員会
 - 11月2日(木) 国分寺駅周辺整備特別委員会
 - 11月14日(火) 公共施設等総合管理特別委員会
 - 11月15日(水) 議会運営委員会※
 - 11月27日(月) 代表者会議/議会運営委員会
- 市役所第1庁舎3階委員会室で午前9時30分から開催します。

※11月15日は午後1時30分から開催します。

*詳しくは、市議会ホームページをご参照ください。

り災証明発行支援システムの導入に向けて！



国分寺政策市民フォーラム だて 淳一郎

り災証明発行支援システムについて

だて) 1年前に導入を要望した、り災証明発行支援システムの検討状況を伺う。

市) 平成30年度の導入に向け準備をしている。導入により災害時における、り災証明発行事務の格段な迅速化・効率化が期待できる。

だて) 導入直後からシステムを運用できるよう職員の訓練の計画的な遂行とそのスキルを持った職員の災害時における配置の検討を要望する。

市) 職員への訓練を徹底し、配置も検討する。

外来動植物の脅威について

だて) この春も市内で多く見られたオレンジ色の花、「ナガミヒナゲシ」。その凄まじい繁殖力の強さに加え、周囲の植物の育成阻害をする物質を出すとのこと。対策の必要性はないか？

市) 市内の実態把握に努め、対策を研究する。

だて) サクラやウメを枯らすクビアカツヤカミキリも問題になりつつある。併せて対応を求む。

市) 市民への周知や協力もお願いしていきたい。

新府中街道の歩道活用の可能性について

だて) 新府中街道が部分開放されたが、両側の10m幅の歩道部分を通行している人は非常に少ない。今後、未着工部分の設計の際には歩道を他用途にも活用するような検討は可能であるのか伺う。

市) 未着工部分には市役所用地や市道と隣接している場所もあり、可能な範囲で東京都と調整を行っていきたい。

●上記以外に「妊娠・出産サポート」「市のPR」「市町村総合体育大会」「ゾーン30」について質問を致しました。

再開発ビル完成目前！ 市政の起爆剤に活用を！



無会派 木村 徳

木村) これまでも歩車分離信号の増設を求め、国分寺駅北口での新設など一定評価はするが、未だ市内4か所と少ない。今後の都市計画道路整備に合わせて更なる設置とともに、既存信号の歩車分離化を強く推進すべきだ。

建設環境部長) 歩行者の安全のために市としても歩車分離信号を推進していくべきものと考えて。既存信号も含め警察と協議を進めていく。

木村) 来春に再開発ビルの完成を迎え、関係者向けセレモニーは予定されているが、これまで多くの市民にも協力して頂いての再開発である。市民に感謝を表す意味も込めた企画をすべき。

まちづくり部長) 長年、市民等のご理解・ご協力があったの再開発であり、提案に共感する。関係者と調整の上、実現していきたい。

木村) 更に、再開発ビルが多摩2位と4位の高さでかなり遠方からも見えることを活用した写真コンクールや、従前から求めている、寄付を募って駅前広場に銘板を設置する等、まちの魅力発信に関わる取り組みも実現を。

政策部長) 面白い提案だ。前述のイベントや5階公益フロアも活用しながら検討していく。銘板設置は実施を前提に庁内で検討を進めている。

木村) 市の職員採用試験応募者数が昨年の史上2番目から今年は更に倍増したがその要因は。また新人育成には現職職員の資質向上が必須だ。

総務部長) 全員面接の実施や、人物重視の試験が評価を得て、自分の能力を発揮したい人材が集まった結果だ。係長の議会傍聴研修の実施、能力ある職員は30代で管理職になれる昇進制度により、資質向上と市民サービスを高める。

柔軟性をもった市政経営、 市民利益の実現を



自民党新国会 丸山 哲平

自治会・町内会支援について

丸山) 以前より自治会加入率向上のため、市としての目標を設定、加入率向上策を講ずるべきと指摘してきた。この指摘を受け市が目標を設定したことは評価。だが支援策については従来の物的支援にとどまっている。いくつかの自治会は人材不足の状況で人的支援も行うべき。他自治体では人的支援制度を導入しだしている。また自治会自身で課題を抽出、解決頂くべくコンサルタント派遣も効果的と考えるがどうか。

市民生活部長) 人的支援について研究して参りたい。コンサルタントについては東京都の実施事業があり申請の手助け等を考えて参りたい。

生産性向上、仕事の仕方改革について

丸山) 庁舎建設が今後市政における大きなテーマとなる。この機に仕事の仕方そのものを見直すことが重要。今後、立席会議の導入を検討してはどうか。効率性及び質の向上を目標として現状の会議実態の検証から始めて頂きたい。

行革担当部長) 有効性は認識。会議実態の検証と合わせ、立席会議について検討して参る。

学童保育所の夏休み期間中の運用について

丸山) 学童保育所につき対象を4年生以上に拡大して欲しいとの声を多く聞く。現状狭隘状態にあることは理解するも、8月の夏休み期間中は他月と比較し出席率が低い。この期間に限定し4年生以上の受け入れを検討できないか。財政・面積等で限りがある中、出来ることから段階的に試行することが重要と考えるがどうか。

子ども家庭部長) 手法含め考えて参りたい。

その他) 職員研修、国民保護訓練等質問。

健康で住みやすいまちへ 新たな取り組みを！



公明党 なおの 克

●オープンデータ戦略の推進について

問) オープンデータの活用に向けて早急に実施すべきではないか？

市) 統計等公表する形で取り組んでまいりたい。

●マイナンバーカードの多目的利用について

問) 市民割引清算が行える駐輪場、ぶんバスの清算にマイナンバーカードが活用できないか？

市) 他の自治体等の事例も含めて全庁的に、普及率など見ながら検討していく。

問) 商店街や観光等、地域活性化に繋がる自治体ポイント制度の導入を求める。

市) 導入に向けて全庁的に準備を進めていく。

●福祉・健康施策について

問) 脳ドック健診助成制度の確立、人間ドック健診の利便性向上を求める。

福祉保健部長) 医師会の協力を得ながら、さらに検討を進めてまいりたい。

問) 特定健診受診率向上に、ニーズ調査、特典の付与、新たな予約システムの構築を求める。

市) 若年層健診等、電子申請が可能になった。早急に検討してまいりたい。

問) 医療的ケアが必要な子どもや親の居場所づくりが必要だ。実態やニーズ把握、関係機関の連携等、可能な限りの支援体制を構築すべきだ。

市) 各関係機関や庁内連携を図りながら、支援の仕組みづくりを進めていきたい。

●まちづくりについて

問) 地域活性化に繋がるシェアサイクルの誘致を求める。

市) 鉄道事業者実施のSuicleについて、情報交換を行っており、様々な手法を検討していく。

年齢相応の運動習慣定着で 市民の健康増進を



公明党 高橋 りょう子

(1) 健康推進施策について

①健康維持には運動習慣の定着が大切。動機づけにポイント制導入等で運動促進の取り組みを。

市) 横浜市の取り組み等を参考に研究したい。

②乳幼児連れでも安心して受診可能な健診を。

市) 医師会と協議し、託児付き健診を検討する。

(2) 災害時の障がい者支援施策 問) 情報が届きにくい聴覚障害の方と手話通訳者双方が、一目で認識できる用品(参考品提示)の導入を。

市) 議員提示の実物を見て支援する側・される側双方に認識しやすいと実感した。研究する。

問) 窓口配架の聴覚障がい者用電子筆談器。対象者・職員への更なる情報提供周知で利活用を。

市) 日常的に庁内横断的な情報共有に努める。

(3) 政府の自殺対策大綱策定で市の計画を自殺者の年齢層が若年化している。SOSを出す事の重要性を具体的に教え命を守る取り組みを。

市) 大人が相談に乗れる環境づくりと、困難からの対処方法を教育現場で充実させていく。

(4) 市民の安全・安心対策について

①多発する特殊詐欺など防犯対策について 庁用車両で注意喚起の放送を流す市内パトロール走行は効果的。実施を。市) 実施したい。

②道路 西町三丁目交差点一帯の安全対策を。市) 狭あい箇所・交差点の一体的改良を進める。

(5) 公共施設整備 問) 北町地域センターのスペース確保の為に、備品収納場所の設置を。

市) 利用者協議会の意見聴取等対応を検討する。

(6) 婚姻届は居住地以外も可能。国分寺の魅力あふれる婚姻届導入で若年世代の流入促進を。

市) 未来を見据え若い人口流入の為に導入する。

請願・陳情の 提出について

請願・陳情はどなたでも提出できます。

市民の皆様は行政等に対するご要望は、請願・陳情として市議会に提出できます。

請願・陳情はいつでも提出できますが、平成29年第4回定例会(11月29日開会予定)からの審議を希望する方は、11月9日(木)までに直接議会事務局へご持参ください。

地域をフィールドにした 徘徊見守り体験を！



国分寺・生活者ネットワーク 高瀬 かおる

◆住宅施策について、安全で安心な住環境の形成や空き家等の活用を推進するためにも、各住宅が良好な状態を保つ必要がある。住宅に関する施策は多く、補助金制度も様々ある。住宅に関する市民の相談窓口の一元化を求める(答) 4月の機構改革で部分的に体制づくりを図ったが、防災や環境、福祉など多くの部署と関わることから、総合的に所管する部署の検討も必要。

◆障がい者就労支援について、「働く」を選択できる環境が重要。就労支援センターを中心に、商工会や多摩信用金庫等が参加する「就労支援地域連絡会」と連携し、職場開拓の強化を！(答) 障がいのある方と地域や企業の接点を増やす等、地域全体で雇用促進する土壌をつくりたい。商工会等にもご協力いただき、地域の企業を訪問し雇用への働きかけを行うなど考える。

◆いきいき農園の障害者団体利用ゾーンの応募が今年度はない。農と福祉をつなぐ観点から、幅広い福祉関連団体が区画をシェアするしくみに変えてはどうか。市民参加での検討を提案。(答) 法的な規制も勘案しながら、いろいろな側面を持たせた見直しを図っていく

◆地域福祉について、地域福祉推進協議会では各団体の活動紹介や交流が行われている。今後、地域課題の解決や新たな担い手の登場に期待するがいか(答) 方向性として市内各地域での開催を念頭に置いている。強制的にならない視点を大事にしつつ地域課題を共有し解決に向かう手法を考える

◆認知症の理解、見守りを地域全体に広げるために「徘徊見守り体験」は、実際に出向いて実施し、広く周知することを提案。

人口減少待ったなし 未来を見据えた国分寺を



自民党新政会 本橋 たくみ

●市庁舎の建設について
本橋) 今年度の庁舎建設に向けた取り組みについて問う。市) 庁舎建設に向けた基本構想の策定を行い取り組みを行っていく。

●人口減少問題について
本橋) 出生率向上の取り組み、多世代同居の取り組み、待機児童の取り組み等を進めていきながら、それぞれの自治体の努力で人口減少に歯止めをかけていく必要があると考えるが市の認識を問う。また妊娠期からの切れ目のない支援の一環であるゆりかご・こくぶんじについてどのような反響があるのか問う。市) ご指摘のとおりあらゆる政策を組み合わせながら努力をしていく。

●都市計画公園について
本橋) 市では、大きな都市公園が少ない、東側に集中している。住環境向上のため計画的に大規模な都市計画公園を整備していく必要がある。市の考え方を問う。市) 課題として認識している。計画的に取り組むを行っていく。

●スポーツ施設について
本橋) けやき運動場の人工芝化を強く求めてきたが市の認識、現在の検討状況について問う。市) 必要性は認識している。見積り等を行い、

都の補助金を活用しながら今後も財政面を考慮しながら進めていきたい。

●公共交通のあり方について

本橋) 鉄道網の発展は、市の発展にも繋がることから、例えばJR武蔵野線を府中本町から南武線に乗り入れることもアイデアの一つであるとする。市の考えを問う。市) JRと協議を行っていき研究課題としていく。

公権力の行政は 市民と真摯に向き合う姿勢で



国分寺政策市民フォーラム 皆川 りうこ

●市長就任2期目。絶大な権力、権限を有す。皆) 市民への対応に職員ができない理由を先に説明、上から目線の物言いとの事例有。見解は？市長) 徹底されていないのは申し訳ない。市民目線、現場主義と常日頃から言っている。できないことを先に言うのではなく、どのようにすればできるか、いつやれるか、なぜできないか理由等きちんと伝えることを徹底していく。

●公民館運営審議会一本化されて初めての答申皆) 各館のサポート会議からの提案や意見も尊重したとある。市として答申への評価見解は？教育部長) 公民館50年の歩みを踏まえ、今後のあるべき姿の提言で非常に重い内容。出来る限り答申に沿った形で事業を進め検討していく。

●障害者地域生活支援拠点センター整備皆) 障害者の高齢化、重度化、親亡き後を見据えた地域で生活していくための重要な施設だ。相談基幹センターは「万葉の里」に委託し、来年の6月開所予定。今後、施設についての検討は障害者自立支援協議会の相談部会等小さな単位が良いのではないかと相談機関は「待つ」からアウトリーチの強化。議会へも適時報告を。福祉保健部長) 専門部会等でも意見を聞き関係機関と連携し支援機能の強化を図っていきたい。

●医療ケアが必要な障害者への支援充実を！福祉保健部長) 日中預かり事業に数名の利用者有り。今後も法人と継続的に協議し取り組む。

●面前DVとは？その背景、要因は何か？市民生活部長) 子どもの目の前でDV。ジェンダーに基づく固定的価値観の影響有。男女平等の視点による表現のガイドラインの公表を進める。

街灯の新設・保育希望数の 動向・非正規問題



国分寺政策市民フォーラム 星 いつろう

●暗い夜道を照らす「街灯の新設」にむけて星) 「暗いうえに人通りが少なく、夜になるとちょっと怖いと思う場所がある」とのご意見をいただいた。街灯の設置を希望されているが、この時、市民のみなさんはどうすればいいのか。市) 建設環境部・道路管理課が、相談窓口となる。市管理の設置基準の原則は、電柱につけるものは20m以上の間隔、独立鉄柱につけるものは10~20mの間隔となっている。

●保育所入所希望者数増大への対策を星) 入所希望者数の動向をどう考えているのか。市) 保育の利用率(対象年齢人口数/入所者数)は、当市では2009年度21.6%から2017年度41.0%へと2倍になっている。都は、利用率50%を想定し保育所の整備を図ると考えているので、

当市も同様の目標を掲げて計画していく。
星) 当市における待機児童の保護者は、求職中の方が少なくないとお聞きしている。出産後仕事に就いていない母親の86%が就業を希望し、その理由は「経済的なもの」が52%となっている(国の調査)。市民の生活を守る観点からも待機児童の解消をより進めるべき。

●非正規公務員の新たな処遇制度について

星) 法改正により2020年4月より臨時非常勤職員に対して、各種手当を支給できるようになる。この財源確保をどう考えているのか。
市) 現在は未定だが、国・都の情報をしっかりとキャッチし、取り組んでいきたい。
星) 期限の定めのある雇用による「不安定さ」の解消は、市民サービスの向上にもつながる。「有期雇用」の是正をぜひ検討をお願いしたい。

若者参画ですすめたい、 国分寺のまちづくり



国分寺・生活者ネットワーク 秋本 あすか

◆産官学の連携秋本) 東経大・国分寺地域連携推進協議会での連携も背景に、学生の市内ボランティア活動等への参加が進んでいる。この繋がりを活かし、東経大の学生に市のまちづくり懇談会やワークショップ等へ更なる参加の働きかけを。答) 実行委員形式では学生の自主的な参加もみられる。多くの場面で参加を働きかけていく。秋本) 市民に身近な地域課題を取り上げ、より多くの市民との連携を深めていただきたい。答) フォーラム等を通じ、多くの市民の関わりは可能。また東経大のみならず、市内の多くの学生の参加を進めたい。

◆若者のまちづくり参加秋本) 若者参画の機会の充実が大切だ。若者の居場所づくりは、環境整備だけでなく運営も若者参加型で進める検討を。答) 現状スペースもなく、若者の居場所の検討はまだ進んでいない。今後子ども若者が意見を述べる機会に、参画の視点も必要と考える。秋本) 若者の主体的なまちづくり参加を促すために、若者チャレンジ補助金のような若者対象の活動支援の仕組みづくりを提案したい。答) 現時点では、大学との連携を進め学生の意見を取り入れるところから取り組む。

◆食品等の放射性物質濃度測定について秋本) 市民の生命と健康を守るために、測定の継続は重要。子どもは特に影響を受けやすいため、新設の保育園に測定の働きかけを。また持ち込み分の測定ができる事を、あらためて市民に周知を。答) 食に対する市民の安全安心の確保、適切な情報提供、風評被害の未然防止のためにも、今後も各課と連携を図り測定作業を継続したい。周知は総合的に担当で検討し考えたい。

子どもの権利の視点から、 保育環境の整備を



国分寺・生活者ネットワーク 岩永 康代

■保育園岩永) 新制度では市町村が地域の子育て支援事業の実施主体となった。昨年の児童福祉法の改正で第1条に「全て児童は、児童の権利に関する条約の精神にのっとり」と明記される等、初めて子どもが権利の主体として位置づけられた。「世田谷区保育の質ガイドライン」は、

次ページに続く▶

子どもの最善の利益を考慮した保育の具体的な内容を示し公表することで、保育施設に関わる人の共通の理解を深め、総合的な保育の質の維持向上につながっている。このように、市の保育の取組を指針として整備し、見える化することが重要。各施設の状況を把握した上で検討する。**岩永**防犯・安全対策について、情報連携や防犯訓練等の取組を整理すべき。検討する。

■学童保育所 ■**岩永**生活の場である学童保育所の狭隘状況を早急に改善すべき。高学年の受け入れを含め増設等定員数の確保を。教育委員会と協議しながら進める。**岩永**障がい児保育等の支援として訪問・巡回支援の実施を。検討する。
■不登校の支援 ■**岩永**不登校児童・生徒数は96人と増加の一方で、トライルーム在籍数は15人と減少。西東京市の不登校やひきこもりの相談・居場所「ニコモルーム」を参考に、子ども家庭支援センター敷地内の離れの部屋を、不登校の子どもが相談したり、自由に過ごせる場に。教育長多様な居場所を求める必要もある。子ども家庭部とも連携し、迅速に進めていきたい。
★その他、市民の活動の場としても重要な役割を担う公園の整備は、トイレの空白地域の視点も含めること、民間施設とのトイレ利用の連携や、マップ等でのトイレ情報の提供等を提案。

教育にかかわる負担軽減に向けた取り組みを



公明党 木島 たかし

ランドセル等の入学準備費用の前倒し支給を
問) 経済的に大変な世帯に向けた就学援助について、ランドセル購入費等の入学準備のために多額の費用を準備しなくても済むように、入学前に支給をするべき。(現在は入学後の支給)
答) 新年度に向け対応できるようにしたい。
災害に強い安全安心のまちづくりに向けて
問) 木造住宅密集地域の対策として、地震時に設定以上の揺れを感知して自動で電気を遮断し、通電が原因の火災を防ぐため「感震ブレーカー」が有効。促進へ広報と助成制度の検討を。
答) 重要性を認識している。研究していく。
安心の介護予防・地域包括ケアの環境整備を
問) 小規模多機能型居宅介護(「通い」を中心に、自宅に来てもらう「訪問」、施設に「泊まる」のサービスが柔軟に受けられる施設)は在宅での生活を支えるために重要。整備促進を。
答) 地域に密着した重要な施設。推進していく
さらに市民に親しまれる「ぶんバス」に
問) 万葉・けやきルートの利用状況は?
答) 増加が継続している。7月は1ヶ月で1万

第3回定例会陳情の審議結果

第3回定例会では陳情5件を審議した結果、継続5件となりました。

《継続となった陳情》

陳情第29-2号 西国分寺駅東口開設を求める陳情

陳情第29-3号 新市庁舎建設に関する文化施設の併設についての陳情

陳情第29-4号 新市庁舎建設に伴う国分寺障害者団体連絡協議会の活動拠点提供に関する陳情

陳情第29-5号 「日本軍『慰安婦』問題に関する意見書」の見直しを求める陳情

陳情第29-6号 西国分寺駅東口恋ヶ窪側乗降口の開設を求める陳情

人を超え、1日平均も4月の236人から7月は328人となり、この3ヶ月で約100人増加。

問) 高齢者の運転免許自主返納事業(ぶんバス無料乗車バス交付)も好評とのこと。現状は?

答) 9月4日現在で360名から申請があった。

問) バス停への屋根やベンチの設置を。費用の対策は広告や寄付による手法を活用しては。

答) 設置可能箇所は利便性向上のため検討する他に、野川の護岸の老朽化について。安全対策に万全を期していただくよう求めました。

多子世帯への負担増中止を市民の公共施設に



日本共産党国分寺市議団 中山 こう

【少子化対策に逆行する保育料改定は中止を】

今回の保育料改定は自治体職員の事務を簡素化することが議論の出発点になっている。このため、根本的な制度設計として、子どもが3人以上いる多子世帯では保育料が大きく上がる傾向になってしまっている。

問) 市では多子世帯の負担を抑えるために軽減措置を行うとしているが、それでも多子世帯では保育料が上がる傾向にある。多子世帯が負担増とならないようにさらなる軽減をすべき。

答) 保育料についてこれ以上の軽減は考えない
*少子化・人口減少の中で子育てに関する一番の不安は子育て費用の負担。特に多子世帯が負担増となる保育料の改定はすべきでない。

【市民プールと九小プールを統合するな】

問) 市民プールは追加ボイラー設置などが提案されている一方、昨年には市民プールを廃止して九小プールと統合する計画が示されている。市民プールの存続についての考えは。

答) 当面、現状のまま市民プールとして残す。
*市民プールは長期的に残す判断をし、追加ボイラーなどの対応とともに、抜本的な長寿命化工事もあわせて行なうべき。

【市民団体の会員名簿の提出を求めるな】

問) 名簿提出を求めることは思想・良心の自由を規定した憲法19条違反。

答) 名簿提出は強制していない。団体が使用料の減免や優先予約を受けることを申し出るので提出は団体の意思。

*全くの詭弁で、市民を無視した考え方だと強く批判した。

新ホール使用料、西国分寺駅東口、介護保険



日本共産党国分寺市議団 岡部 宏章

＜新ホールは市民が使いやすい使用料に＞

岡部：再開発西街区5階にオープン予定の新ホールは基本的に市が責任を持って運営費を賄うのか、それとも利用者に負担を転嫁するのか。

答：使用承認を受けた時間帯が占有することから、受益者負担の原則に沿って行う。

岡部：ホールでの市民の間の交流や文化的な行事は利用者だけにその効果が及ぶものなのか。市民全体の文化の向上に資するものではないか。

答：おっしゃるとおり。だが、利用される方については受益者負担はしていただく。

岡部：全く整合性が取れていない。公共施設は民間の貸しホールとは違う。根本から使用料の

設定の考え方を見直すべきだ。

＜東口開設は市長の掲げた公約。早期開設を＞

岡部：いつまでに実現させるのか。行政から市議会や市民にも協力を求めて、一緒になって取組みをしてはどうか。

答(市長)：都知事に要望したり、JRとも引き続き交渉したり、色んな方策を考えている。

＜次期介護保険事業計画に向けて＞

岡部：介護事業者にとって介護職員処遇改善加算が受けにくいという実態は把握しているか。

答：介護人材が集まらない問題は7期(次期)の計画の大きなポイントになってくる。

岡部：介護職員の低い処遇や低い社会的地位が介護人材の不足に直結している。国に制度的な対策と改善を求めるべき。

(介護保険料について)4.4億円積み上がっている基金を次期の値下げのために活用すべきだ。

答：保険料上昇抑制の財源には出来る。

耳をかたむけ、まちづくりを推進



自民党新政会 尾作 義明

●多喜窪通りについて

多喜窪通り、都道国3・4・3号線は以前より、市でも交通危険箇所であることを認識している、歩道整備、ぶんバスのバス停などを考慮して整備を進められないか? (市) この路線は優先整備路線であるが事業化が未定。先行して整備する為には課題が多い、周辺の国3・4・11号線などの取組を進め早期事業化を要望してまいりたい。(尾) 市内の多くの道路に愛称がついている。因みに、どこまでが「多喜窪通り」でどこから「丸山通り」か? 他の道路についても整理する必要がある。(市) 国分寺駅南口より東が「丸山通り」。他の道路名称も整理していきたい。

●野川整備の進捗について

都の認識が「親水、修景の整備」から、「老朽化した護岸の早急な整備が必要」と変わった。しかしながら、整備には時間を要する。市内は河川の氾濫を防ぐため雨水を下水へと流している。これが一部地域では、かえって冠水に繋がっている。(市) しっかりと対応したい。

●LED街路灯について

災害停電時に対応した街灯を設置すべき。また、一部にはソーラーバッテリー、Wi-Fi、携帯電話の充電機能、防災無線など多機能な街灯の設置を求める。(市) 導入に向けて検討する。

●民泊の対応について

経済振興策、また住宅地域の安心、安全への取り組みなど、行政は主体的に取り組むべき。

その他の質問「再犯防止推進計画について」「小・中学校の運動会について」「ペットボトルの戸別回収について」

映像配信について



平成29年第3回定例会の本会議で行われた一般質問と議案審議の様子が市議会のホームページからご覧になれます。また、次回第4回定例会の一般質問と議案審議のライブ中継・録画配信も行います。ぜひご活用ください。



本会議の動画配信QRコード

待機児童、国保、正規職員、先生の勤務時間



国分寺政策市民フォーラム 及川 妙子

1. 西国分寺駅南口駅前通りの街灯について＝しょっちゅう消えるので困っている。→来年度以降に予算を計上して対応をはかる。
2. 待機児童について＝(1)子ども子育て会議はこの3年で9回開催されたが、市報に掲載したのは1回のみ。1ヶ月前には予定をたてて市報に掲載してほしい。(2)30年度の保育所定員を211名増やすが、今のところの確保数と小規模保育所が入っているか？→68名。入っている。(3)保育所利用率はこの8年で21%から41%になっている。総合的施策の中で一日も早く待機児童の解消をすすめてほしい。
3. 国民健康保険の都道府県化について＝(1)変更点は？→来年から東京都が財政運営の主体になり、医療費は全額支払う。市は事業費納付金を都に支払う。納付金は都が標準保険料率とあわせて公表するが、市は国保運営協議会において議論して決める。(2)適宜担当委員会に報告してほしい。
4. 正規職員の採用について＝時期を5月に早めたため、昨年は520人、今年は1,163人応募があった。来年はどうするつもりか？→より良い人材を確保するため同様の取り組みをしていく。
5. 小・中学校教員の勤務時間について＝(1)4月の文科省の調査では昨年度の中学校教員の1週間あたりの平均勤務時間は63時間18分で、過労死ラインの20時間以上残業した教員は57.7%、小学校は33.5%だった。国分寺では？→調査していない。現在東京都で抽出調査を実施中。(2)まず実態調査をして、外部指導員の増員などをはかり、先生の働きすぎをなくしてほしい。

国立駅北口整備の進捗 農産物直売会場の確保



自民党新政会 尾澤 しゅう

【国立駅北口周辺の整備について】

尾澤→国立駅北口駅前広場と国立都市計画道路3・4・10号線南工区、及び現在暫定開放している西一条線の延伸部の整備の状況について教えてください。

答弁→国立駅北口駅前広場の整備が11月頃から着工予定。また、国立都市計画道路3・4・10号線南工区については現在用地買収を進めている状況、西一条線延伸部については当該都市計画道路と合わせた工程で整備を行っていく予定であると国立市から聞いている。

尾澤→北口駅前広場から東に延びる北1号線の東向きへの一方通行化はいつから始まるのか。

答弁→11月頃の工事着手に合わせて交通規制を行う予定だと聞いている。

尾澤→国立駅北口利用者の大半は国分寺市民である。しかし、交通規制等が間近に迫ってきているが、市民への周知が充分なされていない状況にある。駅前の交通規制は市民生活や地域の経済活動に大きな影響が及ぶことが想定される。早急に交通規制や工事スケジュール等の周知(北口駅前広場での説明会や市報、HP等)を国立市と共に進んでいただくことを求める。

答弁→国立市と相談のうえ、周知に努めます。

【再開発エリアの農産物直売会場について】

尾澤→国分寺駅北口再開発により従来の会場から二度の移転を余儀なくされてきた。現在の狭隘で天候の悪影響を受ける会場から安定的な直売活動ができる場所の確保を求める。

答弁→再開発事業に伴い、各方面と協議、調整をしながら積極的に実現に向けて検討をする。

市長選挙での公約と、今後の市政を問う！



日本共産党国分寺市議団 幸野 おさむ

幸野) ◆国分寺まつり問題◆これまで出店できなかった市民団体が出店できる方向になっている。だれもが自由に参加できるように要望する。

◆財政問題◆財政が健全化した理由は①消費税増税分と②国分寺駅北口再開発の清算金であり、市民の負担によって改善したものだ。これ以上市民に負担を押し付けるのは筋違いだ。

部長) 財政規律を維持しながら市民サービス向上のために的確にやっていきたい。

幸野) ◆市民プール問題◆屋内プールは継続すべき。また、今後猛暑日は増え続けるため、屋外プールも必要だ。府中市や小平市、レインボープールなど広域連携も視野に研究を。

部長) 屋内プールは継続していく。屋外プールについてはニーズ調査を含めて研究する。

幸野) ◆学校の教室不足問題◆第四小学校のパソコン教室を改修して普通教室にするようだが、校庭を拡張し、教室を増築する対応が必要。

部長) 今回の方針について検討に時間を要した。申し訳ないがここで補正予算をお願いする。

幸野) ◆学童保育所不足問題◆第七小学校敷地に整備する学童保育所は2階建てにすべき。

部長) 1階建て2階建て含めて検討している。

幸野) ◆保育所等の保育料改定◆全体的な観点で言えば、値上げは抑制され関係者の努力を評価したい。答申の中身を具体化していくべき。

部長) 多子世帯への対応を進めている。

幸野) ◆学校の給食費問題◆他市でも補助する自治体が広がっているので、市でも補助を。

その他) ◆東恋ヶ窪五丁目交差点の改良◆恋ヶ窪交差点一方通行入口の改善◆を求めました。

庁舎の基本構想を始め 急がず進めるべき



無会派(無所属) 甲斐 よしと

甲斐) 市長は先の市長選挙の直前に、骨格予算でもなく、暫定予算でもなく、満を持しての本格予算を組み市長選挙に臨まれ再選されたが、再選直後に突如、庁舎建設基本計画策定費等の補正予算という形で唐突に出す理由は何？

行政改革等部長) ころ合いを見て、タイミングを見て構想の予算を計上しているところです。

甲斐) いや、なぜこのタイミングなのかだ。市長選直後に突如、大慌てに出す性質でないはず。

副市長) 議員の考え方はわかります。ただ7月に市長選があり公約として掲げ、その結果、補正予算に計上するのが筋だろうと思っていること。

甲斐) 選挙が小泉郵政改革のようにワンイシュー(一つの争点)ならば理解できるが、庁舎建設という大きな課題は突如の補正ではなく腰を

据えて本予算で計上すべきだ。国分寺駅北口再開発事業という大公共事業は終えられそうだが、現状公共インフラ事業が切れ目なく同時に掲げられている。都市計画道3・4・12号、3市での焼却場、当市リサイクルセンター、市内公共施設の再構築、温水プールの小学校との共用等々…。景気の下振れリスクを想定して大型公共事業を複数重ねて進めるべきではない。庁舎基本構想も市民参加で時間をかけて作るべき。公共事業より24時間循環介護の充実を求めた。

〈中学校の内申書作成に十分な相互理解を〉

甲斐) いわゆる共通学力テストの報告書(平成22年)では国分寺は26市中2位で小金井の次だ。絶対評価なので優秀な子が多ければ評価は高くなる。全教科の先生同士でお互いの評価を確認しあう場等の検討を提案いたしました。

多文化共生の推進と 賑わいの創出について



自民党新政会 田中 政義

1. 今後の国際化施策について

問) 今年も国分寺青年会議所が主催する「ぶんじグローバルフェスタ」が開催された。こうした市民団体の事業は在住の外国人の方々との繋がりを密にしていくものと考えが如何か。

市民生活部長) 市長と共に参加させて頂いた。こうした交流を図って頂くことは市の目指す方向と合致するものであり、在住外国人の方々への包括的な支援が進むものと考え。

2. 消防署建設の進捗状況について

問) 現在の進捗と今後のスケジュールは。

総務部長) 実施設計を作成中であり今年度中に終わる。平成30年度に遺跡調査を行い31年度から工事を始め33年度に竣工予定である。

問) 消防署の北側の用地に於いては消防団だけでなく自治会・防災会等の訓練にも有効な消火栓の設置をこれまで求めてきたが検討は。

総務部長) 設置の方向で考えている。訓練場所の確保になるものであり、ぜひ各分団の放水訓練等にも積極的に活用して頂きたい。

3. 国分寺駅北口の七重塔模型設置について

問) 商工会に展示されている模型の再開発ビルへの設置をこれまで求めてきた。進捗は。

まちづくり部長) 立体広場の北側に面した場所で立体通路のほぼ中心に設置できるよう管理組合の権利者の合意を得て検討を進めている。

問) 設置の補強や運搬方法等、商工会の皆様との協力なしには不可能である。密に連携を取り、ビルのオープンに合わせて頂き、多くの方に愛されるシンボルとなるよう準備をお願いする。

まちづくり部長) そのように努力する。

次の定例会開催予定

市議会を傍聴してみませんか

平成29年第4回定例会は、11月29日(水)から開会の予定です。

議会はどなたでも傍聴できます。ぜひ傍聴にお越しください。

※本会議は市役所第1庁舎3階議場で、委員会は同委員会室で、午前9時30分から開始予定です。

一般会計決算議案に対する討論の要旨

9月29日の本会議で平成28年度一般会計決算議案に対する表決に先立ち、各党派等から賛成・反対の討論が行われました。内容は、各党派等が一定のスペース内で自由にまとめたものを討論が行われた順番に掲載しています。

賛成討論

井澤市政の継続的な 行財政改革を評価



自民党新政会(所属8名) 尾澤 しゅう

本決算は井澤市長のゼロベース部局積み上げ方式の3年目となる平成28年度予算の検証となりました。結果としては報酬・委託料の支払いの遅延などいくつか個別に改善すべき事項があるものの、各課において適切な事務執行が行われ、行財政改革が進んでいることがわかる決算となりました。

平成28年度は国分寺駅北口再開発事業は勿論のこと、教育・子育て関連として「民設民営保育所の誘致」「親子ひろば事業の拡充」「小学校トイレの洋式化」「特別教室へのエアコン設置」、福祉関連では「認知症カフェの開設」や「未就学児のインフルエンザ予防接種費用を一部公費負担」等々の掲げた事業を着実に実行されています。そして財政に目を向ければ経常収支比率こそ92.9%と微増の結果となりましたが、国分寺市の後期財政計画の第一目標の数値は達成しています。同じように財政の硬直化を示す公債費負担比率の6.3%を始め、公債費比率2.7%、財政力指数1.026等の財政健全化を判断する指標は確実に改善をされ続けています。また、地方債の償還が進んだことで、一般会計と特別会計の合計未償還額は380億5,691万円となり、基金も約7億円を積み増すことに成功しています。

議会の一部からは財政が好転の傾向に向かっていることから拙速な財政出動を求める意見もあるようだが、これから高齢化社会を迎えるにあたって扶助費の増加や公共施設の修繕・立替え等の財政出動を考えれば、やはり今後も非常に厳しい財政状況であるのには変わりません。

井澤市長にはこれまで以上に積極的に行財政改革を進めていただき、国分寺市が益々発展するために尽力いただくことをお願いいたします。

賛成討論

財政健全化を評価 引き続き厳格な事務執行を



公明党(所属4名) 高橋 りょう子

【財政運営全般について】

平成28年度は財政力指数の改善を始め、基金全体の増加と共に地方債の償還が順調に進み、未償還額が減少した。経常収支比率は少し後退したものの、臨時財政対策債発行抑制の効果が着実に出てきており、将来に亘る財政負担額が減少した。財政健全化への取り組みが改善に結びつき評価する。しかし財政資料からは他の自治体でも懸命に努力していることが認識でき、引き続き市民要望への対応と事業の充実を基本としつつ更なる業務効率化・経常経費抑制への取り組みを求める。

【基金積み立ての重要性について】

子育て支援関係の補正予算の際、緊急的に対応出来たのは、この間の財政調整基金を始めと

する基金積み立ての努力によるものと評価する。庁舎建設資金積立基金(18億9,000万円)の再設置は今決算の大きな評価の一つである。安定した財政基盤無くして今後の少子高齢化対策、庁舎建設、公共施設のマネジメントを始め持続可能な国分寺のまちづくりはないと考える。

【進行管理対象事業について】

長年の課題であったぶんバス万葉・けやきルート運行開始の実現は、過去の反省を踏まえ事務の進行管理を丁寧に進めた結果であり、他にも市の重要な多くの事業が前進した事を評価する。

【個別事業評価】 待機児解消の民設民営保育所誘致や前年度不調に終わった第六小学校洋式トイレ改修工事の実現、認知症対策や障がい者への合理的配慮等、多くの課題に前進が見られ事務事業の改善を評価する。国分寺駅北口再開発事業無事故の完成を始め、厳格かつ適正な事務執行に当たって頂く事を強く求め賛成とする。

賛成討論

財政健全化は道半ば、 より一層の奮闘を



国分寺政策市民フォーラム(所属4名) 及川 妙子

28年度予算は引き続きゼロベース部局積み上げ方式により編成され、「将来を見据えた財政健全化」と「中長期計画的財政運営」を目指して基金の積み増しと地方債の償還を進めることを財政運営の基本姿勢としていた。

一般会計決算は歳入460億4千万円、歳出450億5千万円、単年度収支は9億1千万円の赤字になったが実質収支は8億6千万円だった。

市税は4年連続増収であったが、経常収支比率は税連動交付金の減額により92.9ポイントと昨年度より2ポイント悪化した。しかし、実質収支比率は3.6%、財政力指数は1.026となった。

基金は前年度比7億増の44億円、地方債未償還額も170億6千万円から158億9千万円と減少した。

以上のことから財政状況については厳しいながらも健全化にむかっていることに同意見だ。

しかしながら今後のさらなる扶助費の増加や新庁舎の建設、想定外の支出も常におこりうることから予断を許さず厳しい姿勢で予算執行にあたってほしいと要望する。

支出の個別案件については、特に視覚障害者全員に声のCDの希望をとっていただいたように、すべての業務について市民の皆様の立場にたって丁寧に対応していただきたい。

また、子育て関連のショートステイ利用にみられるように、引き続きの事業であっても常に運用について適正であるか公正であるかチェックすることも必要である。コスパが良いかどうか、費用に対しての効果は、地方自治体であっても常に念頭におく必要がある。

財政健全化について明るい兆しがあるもののまだ道半ばである。職員の皆様のより一層の奮闘を心から祈念する。

賛成討論

少子超高齢社会に 備えた財政基盤を!



国分寺・生活者ネットワーク(所属3名) 高瀬 かおる

◆本決算では、歳入(約460億円)から歳出(約450億円)を差し引き、さらに翌年度に繰り越すべき財源を控除した実質収支額は、8億5,748万円の黒字となった。また、一般会計全体で、約7億円の基金を積み増すことができ、地方債においては、約11億7千万円の償還が進んだ。これらのことから、財政は一定好転していると考えられる。◆一方で、財政の弾力化をはかる経常収支比率は、前年度から2.0ポイント悪化し、92.9%となった。特に歳入では、前年度に比べ、市民税や固定資産税などの市税が約2億円増額したものの、地方消費税交付金や利子割交付金などの税連動交付金が市税の増額分を打ち消す減額となっている。税連動交付金等のいわゆる依存財源は、国や都の動向や景気に左右されるため、その動向には常に注視する必要がある。また、歳出においては、市では、待機児童解消のため、積極的に保育施設の誘致に力を入れているが、それに伴い、民設民営保育所の整備や入所児の委託に必要な経費が年々大きく膨らんでいる。今後も長期にわたって必要な経費だ。合わせて学童保育所の整備など、早急に対処しなければならない事業は多くある。少子超高齢社会をみすえ、社会の変化や市民ニーズにも柔軟に対応できる財政基盤を確立することが重要だ。国分寺市総合ビジョンに掲げる「平成30年度に経常収支比率90%未満」を達成する財政運営を求める。◆個別事業では、まちづくりセンター協働事業について、平成28年度に事業内容を大きく見直したが、応募する団体が未だにないとのことだ。この事態をしっかりと検証し、平成30年度に向けて、どのように進めるのか、早急に検討することを求める。

反対討論

市民の暮らしを守り 支える施策の拡充を



日本共産党国分寺市議団(所属3名) 岡部 宏章

一般会計決算に不認定の立場で討論します。消費税8%への増税や物価上昇の影響で実質賃金が下がり続け、市民の暮らしはますます追い詰められています。市は市民の暮らしを守り支える施策を拡充して、国の悪政から市民の暮らしを守るべきです。しかしそれにこたえる市政になっていません。根本的な要因は、莫大に膨れ上がっている国分寺駅北口再開発事業です。大型開発中心の市政から、市民の暮らしを支える市政へと抜本的な転換を求めます。

井澤市政において、市の最も基本的な計画である総合ビジョンは、市民参加が極めて不十分なまま策定されました。自治基本条例の立場に立ち返って、市民参加の取り組みを抜本的に改

次ページに続く▶

善するよう求めます。

以下、個別の施策に関し問題点を述べます。

高齢者の地域生きがい交流事業は、改編された当初は各小学校区単位の全10ヵ所で開催する目標を掲げていましたが、現状では当初の6ヵ所での実施のみであることが明らかになりました。早急に事業拡大に取り組むべきです。

子どもの発達センターつくしんぼのニーズ増大に伴う狭あい状況は極めて深刻です。早急に対応することを求めます。

小中の学校配当予算が近年減額し続けていますが、授業で用いる教材、校舎等の軽微な修繕に必要なだけの予算が付けられるべきです。

広島へのピースメッセンジャー派遣の報告文

集の配布や配架をふやしたり、報告会の開催の充実を図ることを求めたい。国連での核兵器禁止条約の採択という新たな情勢にふさわしく、国分寺市による平和の取り組みの市内外への発信を進めて頂くよう、求めます。

第3回定例会議案審議結果

第3回定例会には新規27件の議案が提出され、同意2件、可決17件、認定8件となりました。 ※太字表記の議案の表決結果は下表を参照してください。

Table with 5 columns: 議案番号, 議案名, 議案の要旨, 付託先委員会, 本会議結果. Contains 27 rows of legislative proposals and their outcomes.

・補正予算＝補正予算審査特別、国分寺駅＝国分寺駅周辺整備特別

Table titled '議案に対する議員の表決状況 (賛否の分かれたもの)'. Columns include party names (e.g., 自民党新国会, フォーラム) and individual council members (e.g., 丸山哲平, 吉田りゅうじ). Rows list specific proposals and their voting status (賛成, 反対, 無).

・表決 (○=賛成 ×=反対)
・会派名 (フォーラム=国分寺政策市民フォーラム、共産党=日本共産党国分寺市議団、ネット=国分寺・生活者ネットワーク、(無)=無会派(無所属)、無=無会派)